

③ 立花地区 【水土里ネット大館】

小学生のネギ植え・収穫体験

今年で8年目を迎えた農業体験学習を、農事組合法人立花ファーム、立花地区農用地保全活動協議会の協力のもと、大館市立川口小学校3年生18名が参加して、立花ファームで作付けしているネギの苗植作業と収穫作業を体験した。

6月は苗植体験が行われ、小さなネギ苗を手植えと機械による植付作業で体験した。

収穫体験は10月27日に実施され、ネギの苗植えをしてから約5カ月。5cmほどだった苗も順調に育ち、80cmから90cm位の立派なネギに成長していた。子供達からは「大きい」との驚きの声もあがり楽しい様子で、収穫した太いネギを一人10本ずつ袋に詰めてプレゼントされていた。家に持ち帰ってどんなネギ料理を作ってもらえるのか楽しみな様子であった。

質問コーナーでは「ネギの栄養について」、「ネギ作りで大変なこと」、「ネギの種類、名前は？」など子供達の質問に農家が回答していた。この中から一人でも将来の後継ぎが出てくれればと話していた。



活動体制	
実施主体	農事組合法人立花ファーム
後援・連携	大館市土地改良区、立花地区農用地保全活動協議会、大館市立川口小学校
実施期間	①平成23年6月10日（金） ②10月27日（木）
参加者	川口小学校3年生18名、教員3名
報道関連	北鹿新聞社
活動実施年数	8年
連絡先	〒017-0056 大館市字沼館道南40番12 大館市土地改良区 TEL. 0186-42-0558
その他	

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット大館（佐藤 朝子）

○活動の目標及び達成率	目標	地域で活躍している方々から様々な事を学ぶ農業体験学習			
	達成率	90%			
○活動に対する評価	・8年目を迎えて学校との連携が深まって来ているので、今後も継続していきたい。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	C	PRの方法を検討していきたい。
①役職員・組合員の参加	C	地域の法人組織の協力参加	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	C	後継者を育てる工夫までではない	①他組織との連携構築	B	川口小学校との連携
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	C	回数を重ねるごとに理解は得られると思う
①基本理念の設定	B	地域と共に歩む方向性を提示	③施設管理・地域資源の保全強化	B	農地・水・環境保全に取り組んでいるので、保全の強化につながっている
②地域の歴史等の伝承	C	地域の歴史をもっと子供達に伝える運動をする。	④運動の地域づくりへの関わり	C	水土里ネットの関わりをもっと深めたい
③運動の先駆性	B	他の手本となるような運動ではない	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	大いに貢献している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	地域農業の振興までには至っていない
①運動の継続性	B	学校側の協力を得ながら継続していきたい	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	小学3年生を対象にしているため関心を持つようになった	・地域法人の協力があるので、無理のない運動を継続できればと思う。		
③運動の計画性	B	小学校と連絡をとりながら打ち合わせを行っている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他